

新ひだか町立三石中学校

【総合的な学習の時間、社会、道徳】

■ 地域の社会教育施設と連携したふるさと学習

★活動に関連する目指す子ども像



「自己の生き方とのかかわりを考える子ども」

「地域の特性を学び、地域社会の産業を知ろうとする子ども」

□ 活動の概要



町の基幹産業について、地域の人たちとのふれあいなどによる体験的な学びを通して、自分の将来を考え、目標をもって実現する能力や態度を育てることをねらいとして、第2学年の総合的な学習の時間において、新ひだか町の軽種馬産業に係る社会教育施設を活用したふるさと学習を行っています。

□ 活動の具体

- ・ 町内の社会教育施設「ライディングヒルズ静内」と連携し、軽種馬産業についての講話を聞いたり、サラブレッドや乗馬用の馬具に実際に触れたりするなどの体験活動を行っています。
- ・ 講話や体験学習後に、事後学習として、他の教科等と関連付け、地域との関わりや、自己の将来について考えを深める学習活動を行っています。

□ 教育課程上の工夫

- ・ 第2学年の社会科「地域調査の方法を学ぼう」、特別の教科 道徳「勤労」、「我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度」と関連付けて学習できるよう、各教科等の年間指導計画を工夫しています。
- ・ 町の基幹産業について学習を進めるため、学年ごとに、花き栽培、軽種馬産業、漁業について学習できるよう、3年間の教育課程を工夫しています。